

繪ハガキ競技會記事 (第二十五回)

菖蒲 (意匠) 雨 (技術)

一等 菖蒲模様	相田 寅彦	湖畔の雨	海老名研二
二等 池の面	工藤 太郎	小川の傍	相田 寅彦
三等 圓形模様	森 榮一	市中の雨	赤城 泰舒
四等 一色模様	中尾 正幹	早稲田	須藤 隆次
五等 汀の水影	那須田 紅	池畔の雨	瀧島 寛水
六等 菖蒲模様	中尾 春雄	勝手元	山田 全一
七等 同	上 横田 順三	夕ぐれ	兩角 團次
八等 菖蒲に遊鯉	森 幹男	多摩川	赤壁 徳彦
九等 菖蒲に金魚	久保 周一	田舎道	高橋 松治
十等 八ッ橋	樋口 絹子	雨	蛙 吳 文平
十一等 あやめ園子	後藤 百次	林の雨	大橋 三平
十二等 菖蒲園	兩角 團次	港の雨	佐藤 奇巖
十三等 圓形模様	小高 露子	同	久保 白泉
十四等 水と牡若	比奈地利八	細雨	横田 順三
十五等 圓窓に菖蒲園	佐々木真太郎	河畔	樋口 絹子
十六等 小池	石田 翠彩	池畔	鈴木 登
十七等 菱形模様	河緒 達夫	社頭の雨	北村 露峰
十八等 同	中尾 謙	橋頭	後藤 百次
十九等 雨の菖蒲園	須藤 隆次	雨の路	森 榮一
二十等 池畔	北村 露峰	坂道	大矢幾太郎

(以下略)

六月二十四日開會、出品者六十五人、總數二百二十七枚、選評の結果上記の如し。

課題の平易なりし爲めか、意匠畫は佳作極めて多かりし。技術の方は六月上半月雨少なく、實寫の機を得ざりし爲めにや、充分に其感の現はれしもの少なかりし。空のみを見れば雨天にて建物や傘などの色は充分日光の輝けるもありし。尚注意し置たきは十枚を描く時間にて二三枚の叮嚀なるものを出されたく、意匠畫は工風の上にも工風されたく、寫生畫は研究を重れし結果を出されたき事なり。又頻りに金銀泥を用ゐらるゝ人あるが多少素人嚇しの氣味にて面白からず、元より悪しといふにあられど、使用の場處に注意を拂はれたきとなり。次に近來新聞雜誌に出たる圖案の燒直し(甚しきは其儘)を自己の名にて出さるゝ人あり、此競技會は、拙にても自己の考案に成れるものを尙ぶ定めなれば、爾來疑はしき作は其儘出品者に返戻すべし。

八月課題 暑熱 (意匠) 河 (技術)

八月二十日切 八月二十五日開會

▲八月二十五日は午後一時より青梅に於て開會すべし。但作品は例月の通り東京春鳥會宛の事